

カンボジア政府関係者、つくばの小学校へ



音楽の授業で応援歌を作る児童と、視察するカンボジア政府関係者ら
 17日午後、つくば市苅間（篠崎理撮影）

音楽教科導入へ視察

学校教育に音楽を取り入れるため、カンボジア政府関係者約20人が7日、つくば市苅間の市立葛城小を訪れ音楽の授業を視察した。カンボジアの小学校では芸術科目は社会科の一分野として取り入れられ、音楽の教科がないという。

4年生の音楽の授業で、担当の佐々木香織教諭はリズムを使って授業を進め、児童が代表団のメンバーの名前を尋ねて班ごとに応援歌を作って披露すると、代表団からは大きな歓声が上がった。

カンボジア教育青年スポーツ省教育総局のモク・サロン副総局長は「児童は積極的に授業に参加し、先生は子供たちの能力を引き出しており、非常に役に立った」と話していた。